

第9回 高松広域都市圏都市交通マスタープラン フォローアップ委員会

令和6年2月8日

香川県土木部都市計画課

1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

2 高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会について

3 これまでの委員会での整理

4 情報提供、報告

- ① 四国運輸局 : 情報提供(地域公共交通)
- ② 四国地方整備局 : 情報提供(立適・都市再生整備計画)
- ③ 高松市交通政策課 : 高松市における総合的な交通体系の再構築
高松市都市計画課 : 仏生山地区における「みんなの病院を核としたまちづくり」
について

※閉会后、現地視察(仏生山駅～伏石駅周辺のまちづくり)を実施します。



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

①「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」の背景

- ・人口減少・高齢化、環境問題、価値観の多様化、災害など、交通行動の変化を誘引する様々な事象が生じている。
- ・目指す将来都市像となる「持続可能なまちづくり」を実現する、「**目標達成型の計画**」が求められている。

②高松広域都市圏都市交通マスタープランの位置づけ

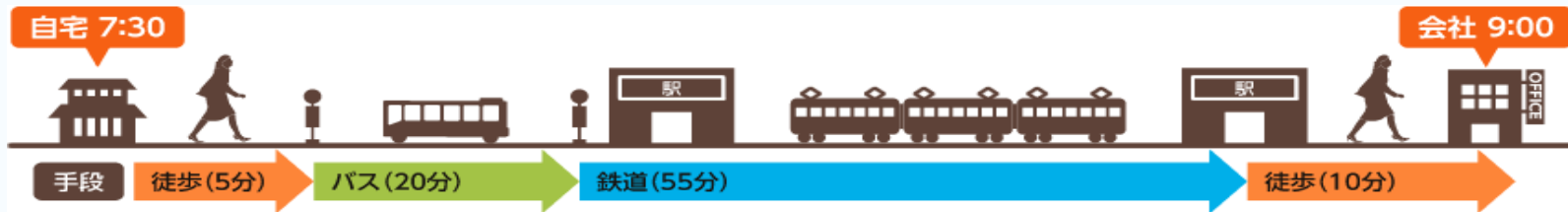
- ・土地利用と交通に関する施策によってまちづくり計画を支える総合的な計画とする。



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○パーソントリップ調査とは

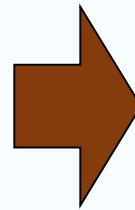
ある1日に外出したかどうか、また、外出した場合「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動したかなどを調査します。



○都市計画:集約型のまちづくりに向けて

これまでの都市では、市街地が拡散したことや、車社会が進んだことにより、公共交通利用者の減少、それに伴うサービスレベルの低下、また、中心市街地の衰退などが進んできました。

人口減少、超高齢社会の到来などを見据えると、都市機能の市街地への集約や公共交通の充実、郊外への新たな都市基盤(道路、上下水道など)整備を抑制することが必要です。

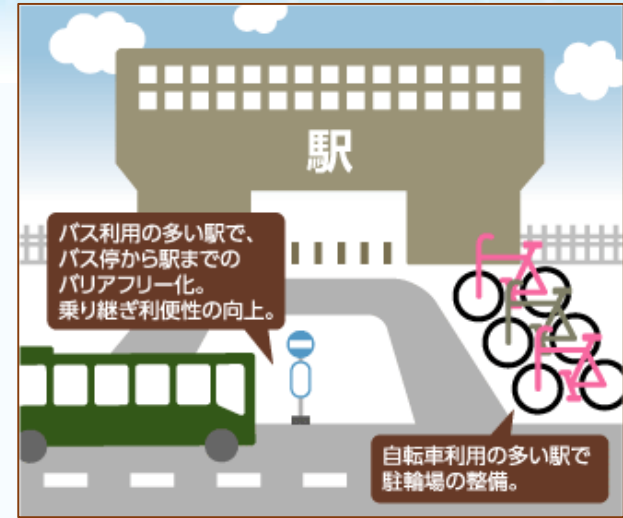


- ・パーソントリップ調査では、どこからどこへ、どのような目的で人が移動しているかがわかります。
- ・人口減少・超高齢化社会の到来に対応した、地域の中心部に都市機能を集約させたまちづくりの検討に活用できます。

1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○交通計画：公共交通（鉄道・バス）の利便性の向上

- ・ 駅ごとに、どれだけの人々が、どのような交通手段を使って集まってきているのかがわかります。
- ・ 駅前での自動車・自転車・バスと鉄道との乗り継ぎの利便性の向上を図るため、交通結節点の改善計画などに活用できます。
- ・ 高齢の方などが、どこからどこへ移動しているのかがわかります。
- ・ 市町コミュニティバスの計画などに活用できます。
- ・ いつ、どこからどこへ鉄道や路線バスが利用されているのかがわかります。
- ・ 鉄道の利便性向上（新駅設置、増便、スピードアップなど）や路線バス網の再編などの検討に活用できます。



○防災計画：災害に強いまちづくりに向けた避難計画

- ・ いつ、どこに、どれだけの人々が滞在しているのかがわかります。
- ・ 災害時を想定した避難場所、避難経路など、円滑な避難のための検討に活用できます。



○環境対策：自動車交通による地球環境への影響改善（CO2排出量の予測など）

- ・ どれだけの人々が、どのような交通手段を使って、どの程度の距離を移動しているのかがわかります。
- ・ 自動車などの交通による今後のCO2排出量の予測に活用できます。



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○香川県が目指すべき都市構造

○都市計画区域マスタープラン

⇒42の拠点から成る集約型都市構造を提言

○高松広域都市圏都市交通マスタープラン

⇒都市計画区域マスタープランを踏まえ、
パーソントリップ調査の結果などから抽出された課題に
対応するための施策を体系化。

○集約型都市構造への転換に資する施策体系

拠点内居住の促進

・拠点内の住居を魅力あるものにするるとともに、拠点内への居住を促進します。

適正な土地利用コントロール

・拠点内と拠点外の土地利用を分けます。

拠点間連携軸の強化

・拠点と拠点を結ぶ交通を魅力あるものにします。

拠点(交通結節点)へのアクセス性向上

・一定のサービスを有する交通を確保します。

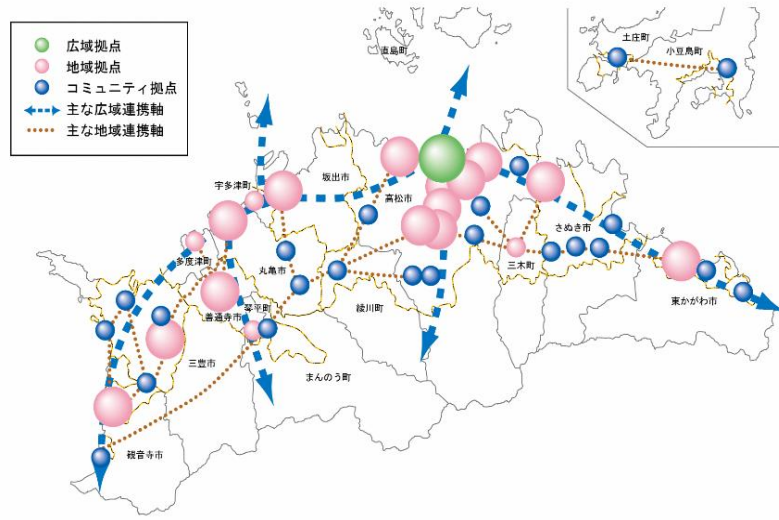
拠点内周遊環境向上

・拠点内の移動を便利にするための交通を確保します。

公共交通の利用促進

・公共交通を将来にわたって維持し、より魅力的な移動を促していきます。

■本県における集約型都市構造のイメージ（三層の集約拠点と都市軸）



土地利用と交通に関する 34施策メニューの提案 （「持続可能なまちづくり」 の方向性を示す）

【フォローアップの内容】

- 施策の進捗管理・評価
- 施策見直しの必要性が生じた場合の改善方針の検討
- 国、県、市町及び交通事業者が同一の方向性で施策を実施するための連携強化及び情報共有



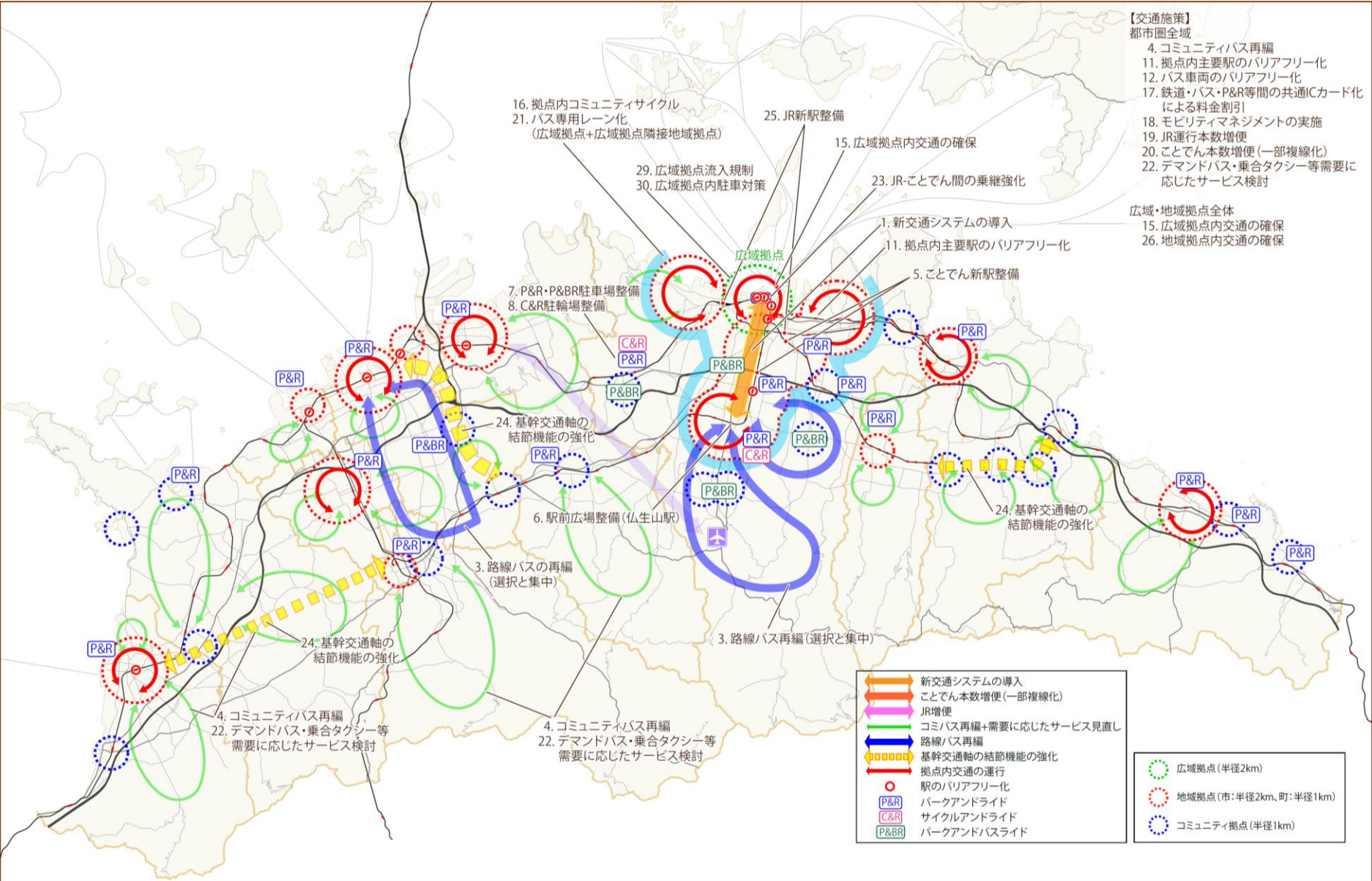
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○計画の具現化を図るため、34の施策メニューのほか、各種計画などの進捗管理が重要。



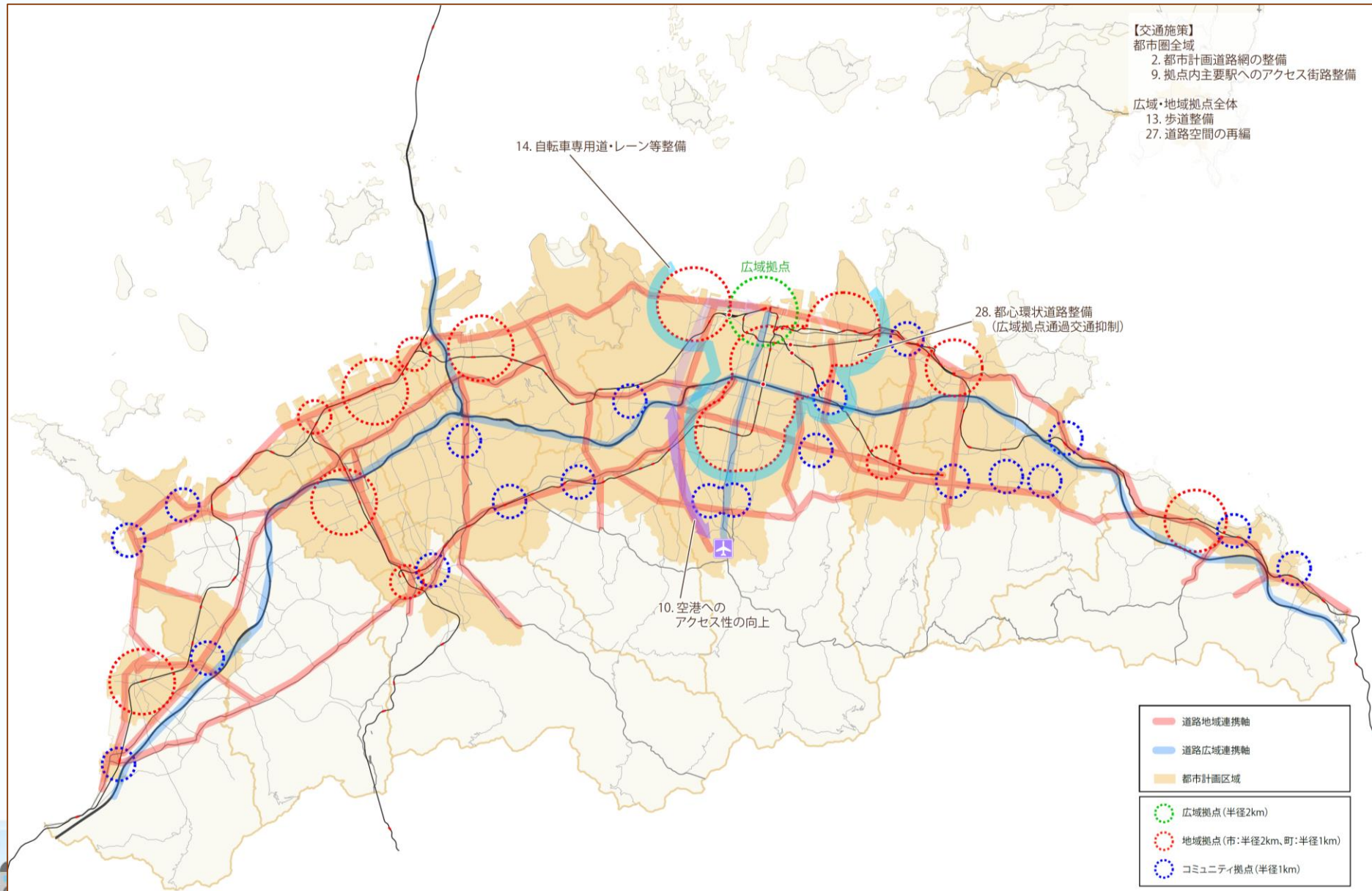
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○公共交通網計画の施策の体系図



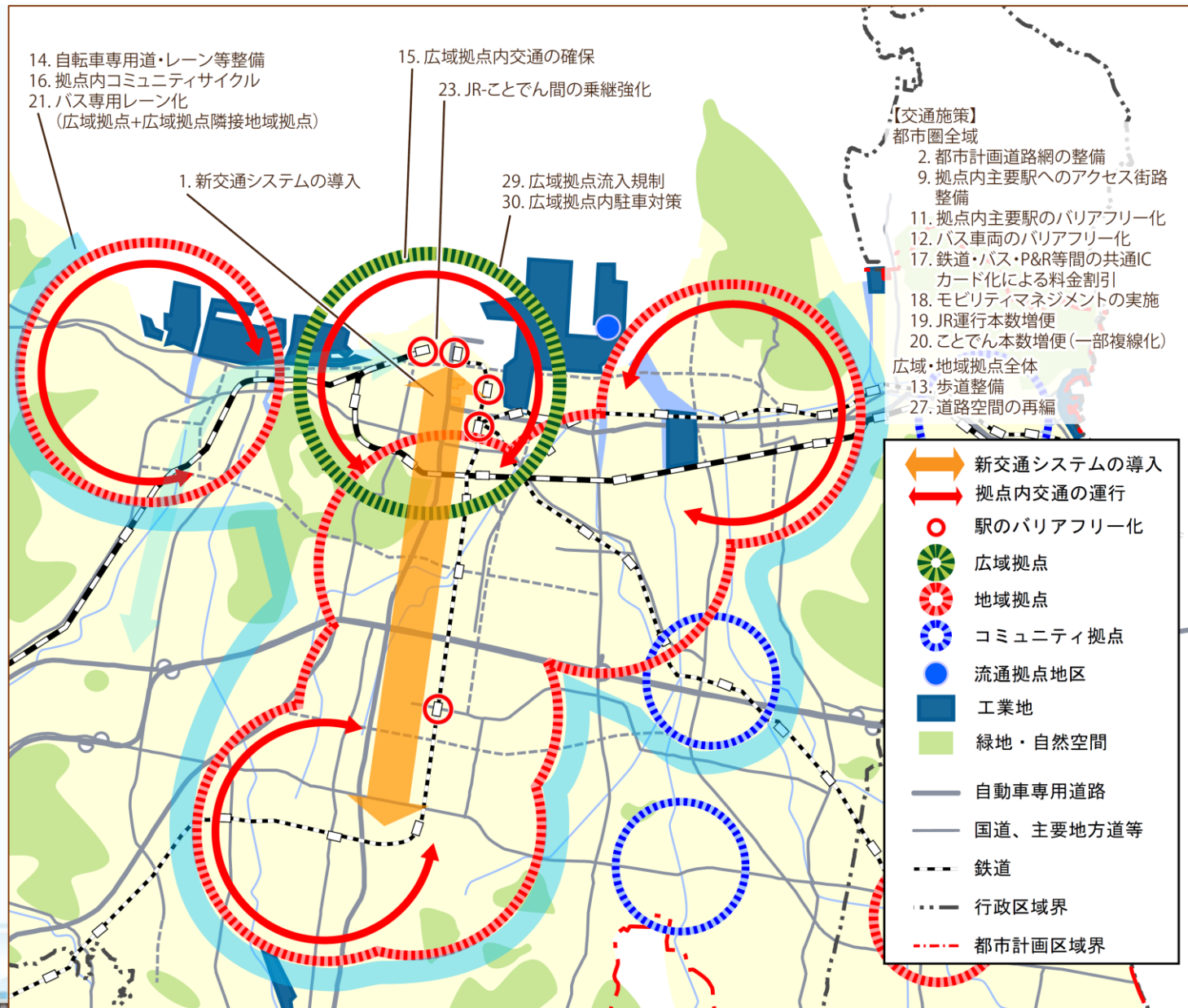
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○道路網計画の施策の体系図



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

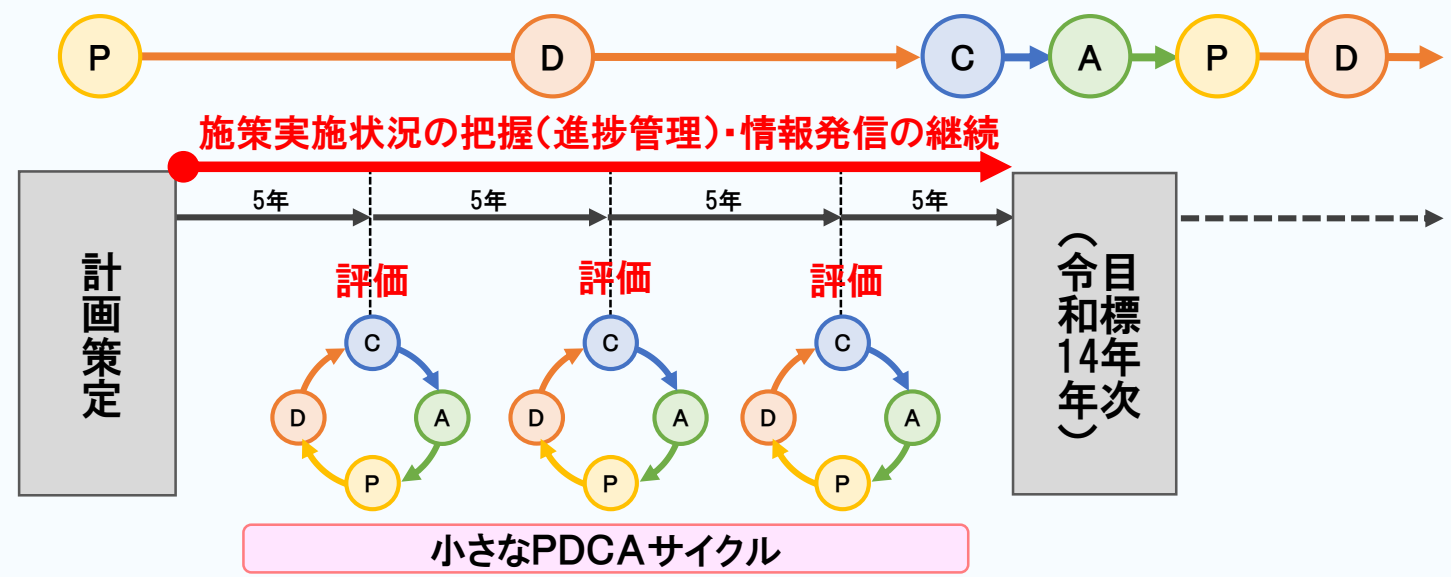
○広域拠点内の施策の体系図



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

OPDCAサイクルの確立

マスタープランの目標年次・・・令和14年



フォローアップの頻度

進捗管理・・・1年毎

- ・ 各事業主体における施策の進捗管理表を基に、毎年の進捗管理結果の情報共有
- ・ 各事業主体における代表的取組事例の情報発信

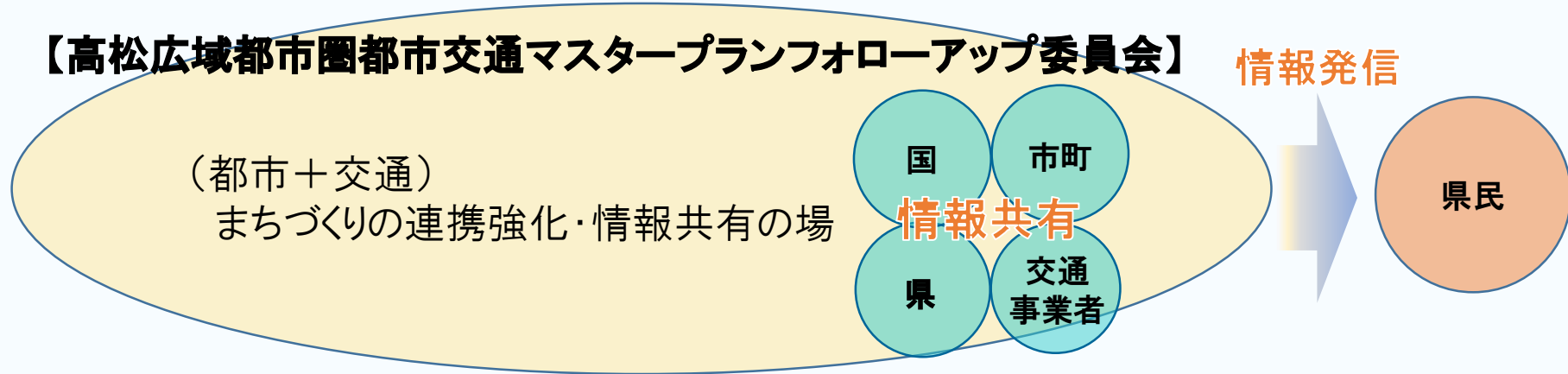
施策評価・・・5年毎

- ・ 指標評価の結果を協議し、必要に応じ施策の見直し等を検討する(小さなPDCA)



○国、県、市町、交通事業者等が同一の方向性で施策実施を目指すための「仕組みづくり」

【高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会】

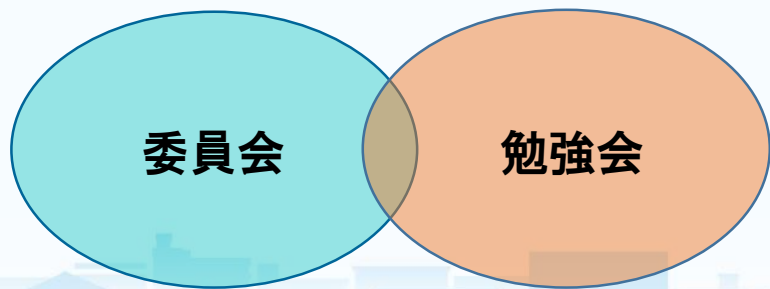


情報共有

- 県内の施策実施状況、進捗状況の把握、
- 施策や都市構造の評価内容を共有
- アーカイブの蓄積

情報発信

- 代表的な取組事例の紹介
- インターネット等で情報を発信する。



- 委員会と勉強会の実施により、情報の共有、施策の促進を図る
- 委員会の考え方を、市町の実務者にフィードバックする



○「実施施策一覧表」

実施施策に関するアンケート調査を集約し、「実施施策一覧表」に取りまとめた。




○「代表的取組事例一覧表」

アンケート調査のうち、各市町の代表的な取組について集約し、昨年の内容と比べ新たな取り組みや、継続的に検討しているものに着目し、施策毎の特徴的な取組を整理した。

【詳細は資料4-1～4-3をご覧ください】



○フォローアップの内容 (例)上段:計画掲載の個別施策イメージ/下段:資料4-1(実施施策一覧表)抜粋

11.拠点内主要駅の バリアフリー化	施策体系	・ 拠点(交通結節点)へのアクセス性向上
	想定される効果	・ 高齢者や身体障害者等の移動の支援 ・ 高齢者や身体障害者等の外出機会の促進
■市町名	各市町	  
■事業年度(計画)	短期	
■想定される事業主体	ことでん・JR	
■具体的内容		
<p>・ 高齢者や身体障害者等の全ての人にとって、移動しやすい公共交通の利用環境を確保するため、拠点内主要駅にバリアフリー施設の設置、改修を実施。</p> <p>・ エレベーター設置等による段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック、車いす利用者対応型トイレ、ホームドアの設置等</p>		

実施施策一覧表【交通施策】

凡例	
	実施施策
	検討施策
	継続施策
	改訂等

施策体系	施策	実施主体	実施計画										備考(R04末時点)	
			H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05		R06以降
↑ 拠点への アクセス性 向上	10.空港へのアクセス性の向上	香川県	地域高規格道路の整備										・ 県道円座香南線(中間区)【区間延長L=3.0km】の暫定整備(H30.3供用開始) ・ 香南区【区間延長L=6km】の事業着手	
	11.拠点主要駅のバリアフリー化	JR四国	転落に対する安全対策										・ みどりの券売機プラスの導入(栗林、志度、三本松、琴平)駅周辺整備も含めた多度津駅バリアフリー化に向けて、自治体と検討を進めていく予定 丸亀駅において、内方線付き点状ブロックの整備を実施【参考】バリアフリー適合車の導入(特急気動車2700系:23両) ・ 駅周辺整備も含めた多度津駅バリアフリー化に向けて、自治体と検討を進めていく予定 ・ 2023年度は端岡駅において内方線付き点状ブロックを整備予定	
		ことでん	高田駅	仏生山駅整備										仏生山駅のスロープ設置、視覚障害者誘導用ブロック、多機能トイレ整備
		高松市	学園通り駅整備		バリアフリー車両導入補助									



2 高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会について

○都市交通マスタープラン勉強会

- ・フォローアップ委員会を実務者にフィードバック
- ・既存の取組を活かしながら、柔軟に実施
- ・多度津町をモデルエリアとして「都市のスポンジ化」に着目したワーキングを実施

○第1回勉強会(H28.12)

- ・丸亀市の取組み(リノベーションまちづくり)
- ・西予市の取組み(立地適正化計画) 等

○第2回勉強会(H29.12)

- ・綾川町の取組み(都市計画用途地域の検討)
- ・都市構造に関するワーキング 等

○第3回勉強会(H30.11)

- ・モニタリング指標の共有と課題認識 等

○第4回勉強会(R1.11)

- ・復興事前準備、国土強靱化計画 等

○第5回勉強会(R3.3) ※書面開催

- ・第6回委員会の情報提供

○第6回勉強会(R5.7)

- ・地理空間情報の活用について 等

○第7回勉強会(R5.12)

- ・富山市の取組み(富山型コンパクトシティ) 等



R2.2.18多度津町にてワーキングを実施



3 これまでの委員会での整理

○今後の委員会のあり方や実施方針の再検討 (市町アンケート調査結果の整理(第6回委員会))

【問題点への対応】

- ・ 都市交通マスタープランの目的、役割、取組体制を周知
- ・ 各種施策実施の参考となる事例発表や最新情報の提供を継続して実施
- ・ 行政(都市、交通)と交通事業者で継続して課題の共有を図る
- ・ 「集約型都市構造の実現に向けたまちづくり基本方針(H19.10)」の考え方についての継続的な説明や関連する事業について周知



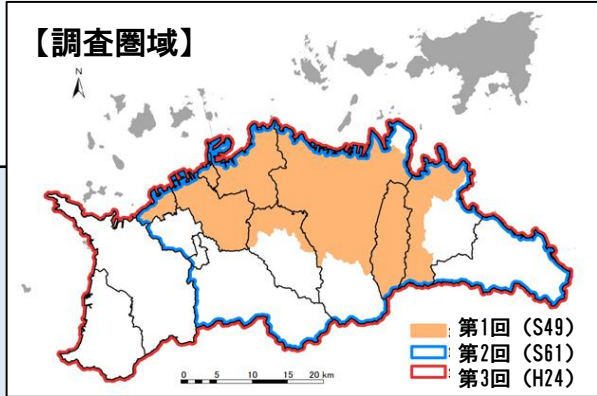
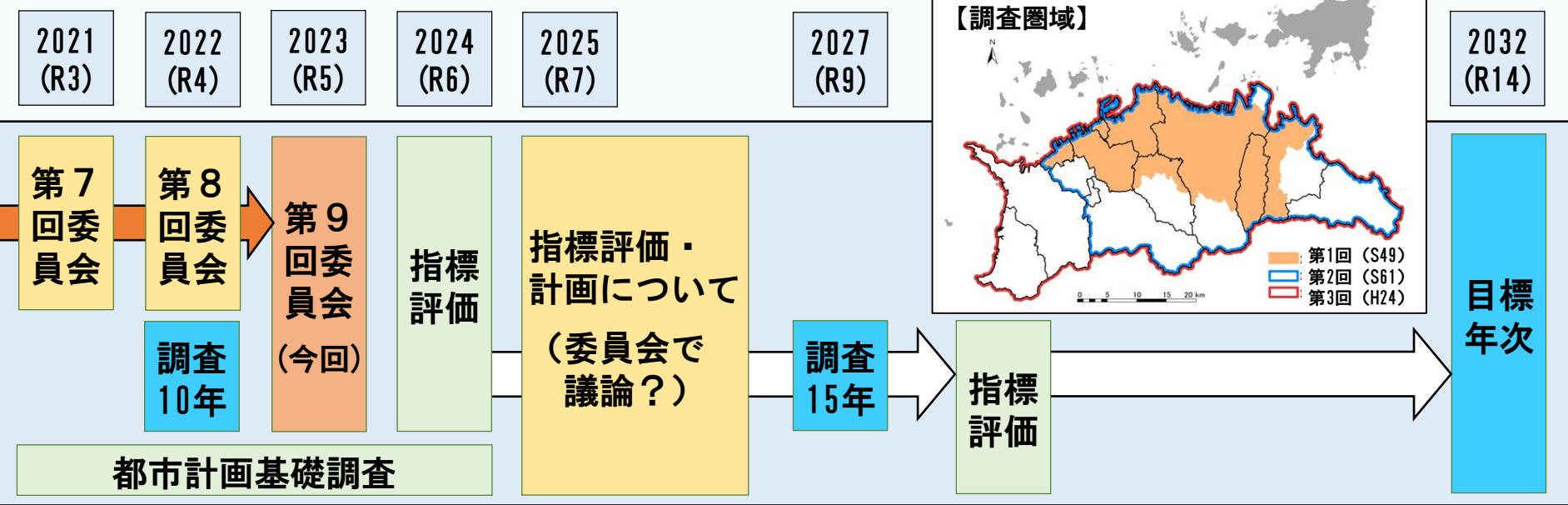
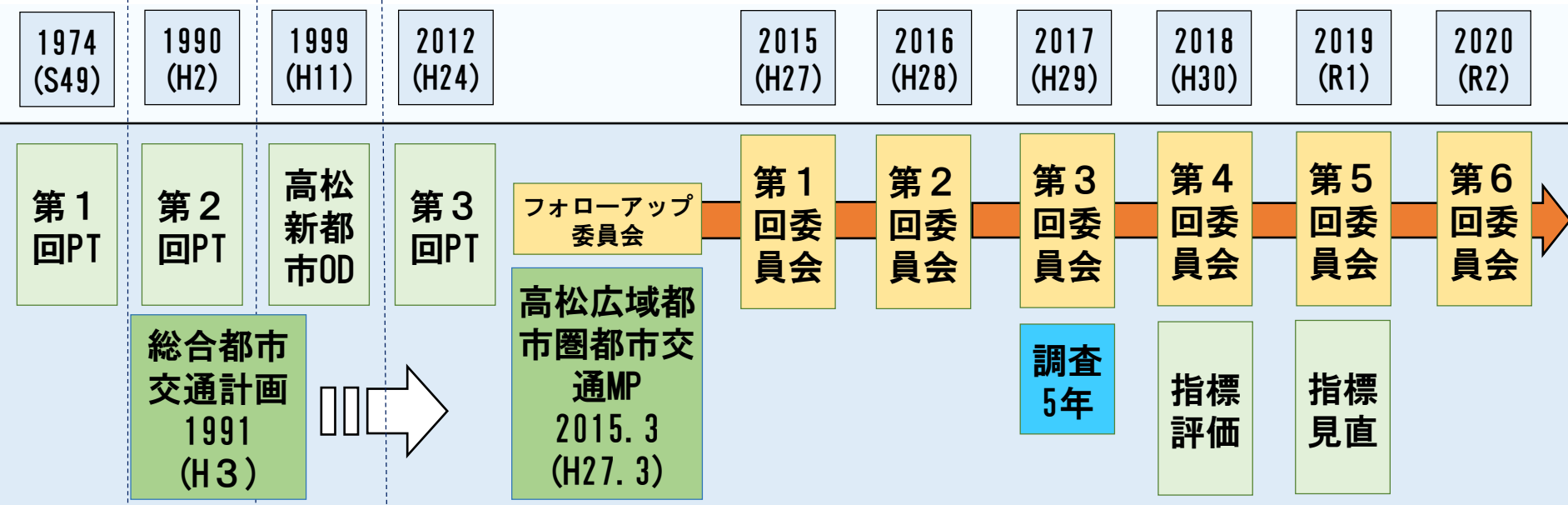
今後も本委員会での情報共有を継続

○委員からの意見等(抜粋)

- ① 交通マスの見直し等について
- ② HP上等での情報共有
- ③ 意見交換の場の確保

3 これまでの委員会での整理

○これまでの経緯と今後のスケジュール



3 これまでの委員会での整理

○新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会(R4.7)

デジタル社会に対応した新しい都市交通調査体系の実現に向けて 中間とりまとめ概要版

1 都市交通調査の果たしてきた役割

都市交通調査とは(都市計画運用指針より)
都市の骨格を形成する交通施設等の
必要性及び規模に関する総合的な検討

(実態調査)
**パーソントリップ
調査**

果たしてきた役割

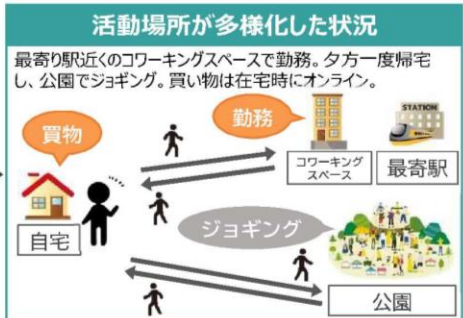
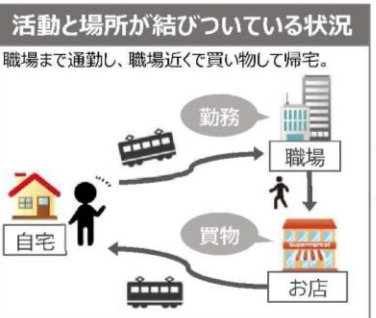
- ・計画的な交通施設整備を進展(道路、鉄道、LRT等)
- ・TDMやモビリティ・マネジメント等のソフト施策を提案
- ・都市計画や交通計画を担う人材の育成に貢献
- ・パーソントリップ調査データは学術研究の発展に貢献



2 都市交通調査を取り巻く近年の状況と課題

デジタル社会の進展による人々の活動場所の変化

- ・オンライン化が進み、外出や移動をせずとも、活動のニーズを満たすことが可能に
- ・新型コロナの感染拡大を契機に、オンライン活動へのシフトが進む



オンラインによる活動

都市交通調査の実施状況の漸減傾向

多様な都市交通施策の取り組みが進展

- ・ハード整備中心から、ハード・ソフト施策のバランスよい取り組みへ
- ・長期の整備投資から、短期で柔軟な、いわゆるアジャイルなまちづくりに拡大

多様な都市交通施策に対応した調査手法が未整備

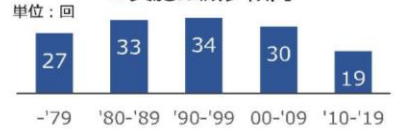
- ・従来の都市交通調査は、交通施設の必要性や規模の検討を主眼に設計
- ・ウォーカブルなまちづくり、公共交通の利用促進、都市機能や居住の誘導等への対応が不十分

地方公共団体が今後取り組むことを予定している都市交通施策

第1位	公共交通の利用促進・利便性向上	56%
第2位	公共交通の維持	47%
第3位	地域公共交通計画等の策定	43%
...		
第10位	道路の整備	8%
第21位	鉄軌道の整備	2%

※全国の都道府県及び10万人市区町村の都市(332地方公共団体)のうち、回答があった289地方公共団体による回答割合
国土交通省都市計画調査室調べ

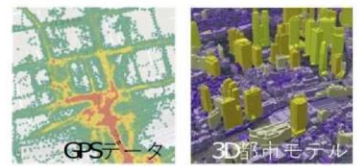
全国におけるパーソントリップ調査の実施は減少傾向



人の動きに関するビッグデータや高度なシミュレーション技術等の登場

ビッグデータやシミュレーション技術の高度化

- ・スマートフォンや交通系ICカード等から移動履歴の情報が入手可能に
- ・3D都市モデル、GTFS-JP等、重ね合わせて分析するデータの取得も容易に



ビッグデータ等の技術知識の不足

- ・ビッグデータに関する基本的な情報の公表が不十分な場合が多く、目的に対応した活用ができない場合がある
- ・シミュレーションの精度の限界など、地方公共団体と都市計画コンサルタントとの間で共通認識を持っておらず、双方にとって非効率が発生することも

進まないパーソントリップ調査データの利活用・オープン化

パーソントリップ調査データの

多分野での利活用を阻む壁

- ・担当者が容易に分析できず、外部委託が必要
- ・利用場面などの認識も不足し、活用が進まない

地域の取組の共有不足及び共通ルールの欠如

- ・地方都市圏の調査結果は、各都市圏で管理され、データ公表の方法等は都市圏によって異なる
- ・ビッグデータやシミュレーションなどの技術知識の地方公共団体間の共有が進んでいない

各都市圏におけるデータ公表の状況

都市圏	調査年度	集計表	計画書	集計システム	可視化ページ
東京	H30	○	○	○	○
近畿圏	H22	○	○	○	○
中京	H23	○	○	○	○
阪神	R01	○			
熊本小山	H30	○			
北部九州	H29				
山形	H29				
仙台	H29	○	○		
室蘭	H28	○			
群馬	H27				
長野	H28	○			
大分	H25	○			
熊本	H24	○	○		

3 これまでの委員会での整理

○新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会(R4.7)

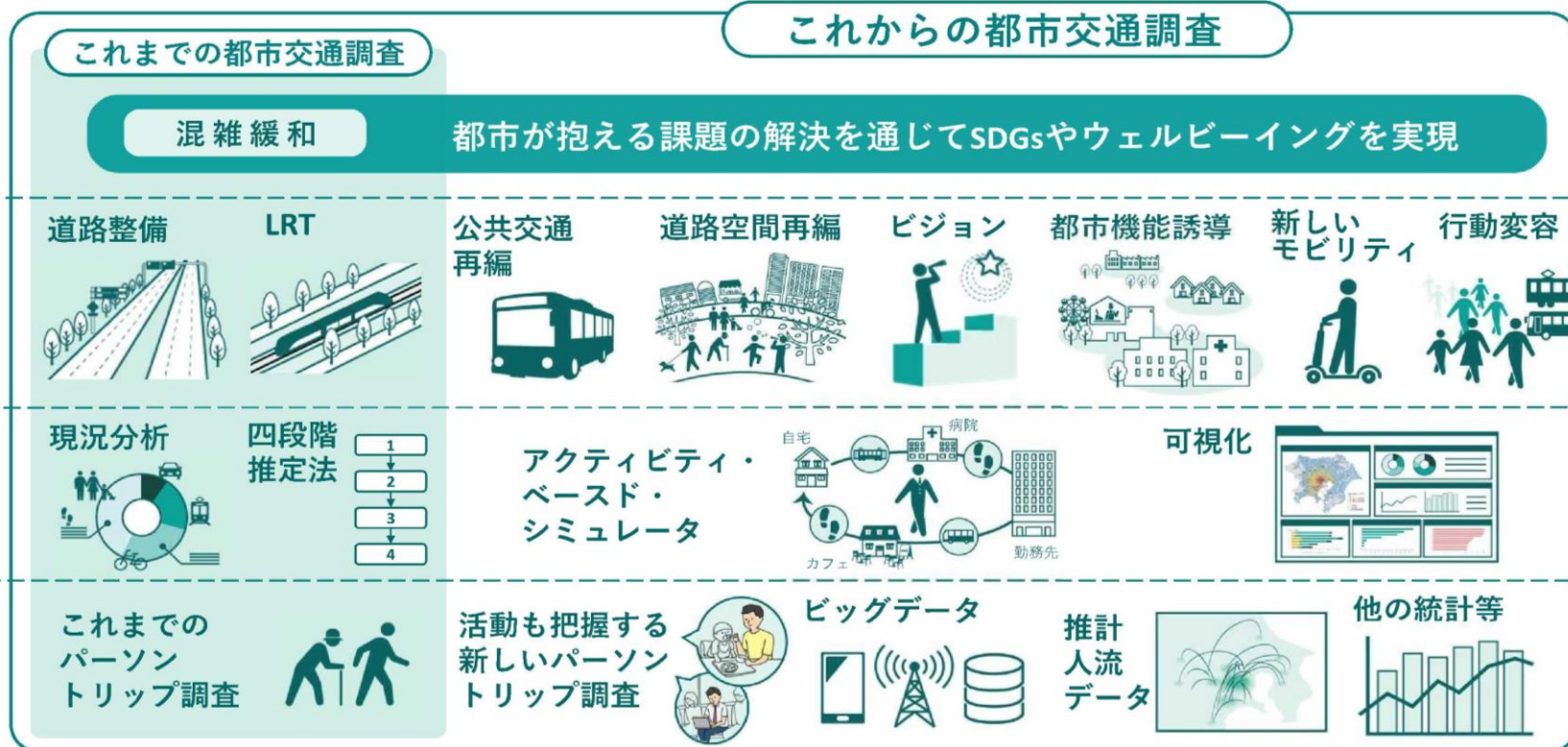
デジタル社会に対応した新しい都市交通調査体系の実現に向けて 中間とりまとめ概要版

3 デジタル社会に対応した都市交通調査体系

ビッグデータ時代における
パーソントリップ調査の意義

- ・有効な施策検討のためには、人の移動の仕組みの理解が重要
- ・移動の目的、交通手段、詳細な個人属性等を同時に把握できるのはパーソントリップ調査のみ
- ・パーソントリップ調査データとビッグデータのそれぞれの長所を生かし、適材適所で活用すべき

新しい都市交通調査体系のあり方の方向性 施設整備に対応した従来の都市交通調査を包含しつつ、新たなニーズにも対応



都市交通調査の再定義の必要性

都市計画運用指針で示されている都市交通調査の定義を見直す必要がある

3 これまでの委員会での整理

○新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会(R4.7)

デジタル社会に対応した新しい都市交通調査体系の実現に向けて 中間とりまとめ概要版

4 新しい都市交通調査体系の実現に向けた取り組み

①活動(アクティビティ)に着目した新たな都市交通調査手法の開発

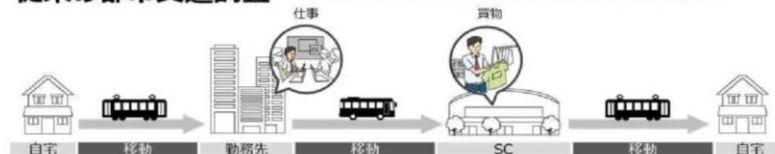
活動・場所・移動の一体的な把握

- ・活動のニーズ、ニーズを満たす場所、移動の有無、が捉えられ、都市空間における人の活動や移動の実態を、原因も含めて把握可能な調査手法の開発

<活動把握にあたっての留意点>

- ・買い物行動が、品物の注文と受け取りに分離され、それぞれ行われる場所が同一ではない、という状況の変化に留意
- ・外出してなくてもニーズが満たされるようになったため、活動や移動とあわせて幸福感、満足度などを把握することに留意
- ・過去に実施されたパーソントリップ調査との比較可能性に留意

従来の都市交通調査 移動とその目的(目的地における活動)を調査



新たな都市交通調査 移動と在宅・オンラインを含めた主な活動を調査



②効率的で多様な都市交通調査手法の構築

多様な目的に対応した都市交通調査の促進

- ・地方公共団体が取り組む施策は多様化しつつあることから、それぞれの地域のニーズに応じた都市交通調査を自由度高く設計し、実施すべき
- ・各都市圏が今後実施するパーソントリップ調査を支援しつつ、ニーズに対応した、多様な調査の開発を促進(小規模化、高頻度化、複数日調査など)

【アクティビティ・ベースド・シミュレータの開発】

- ・施策評価手法の新たな選択肢として、アクティビティ・ベースド・シミュレータの開発に取り組むべき
- ・全国PT等を用いたシミュレーションと小標本のパーソントリップ調査を連携させた調査手法の構築に取り組むべき



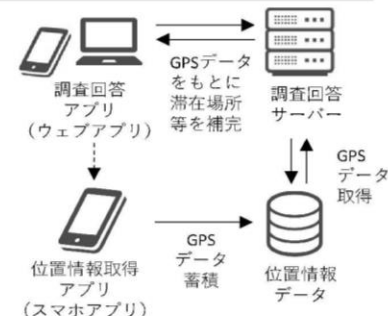
【まちづくりにつながるビッグデータ等の活用手法の整理】

- ・都市交通施策検討におけるビッグデータ等の活用手法の整理及び知見の共有

デジタル技術による効率的な調査方法の普及促進

【スマートフォンアプリによる回答促進】

- ・各都市圏が利用しやすいWeb調査システムやスマホアプリ等を国が開発し、それを各地方公共団体が利用できるように検討を促進
- ・開発だけでなく、更新しつづける仕組みとあわせた検討が必要
- ・アプリのダウンロードの負荷等を考慮し、回答者へのインセンティブの付与についても検討



アプリ調査の構成イメージ

【ビッグデータ等を活用した各種取り組みの効率化の推進】

- ・異なる人の移動に関するデータの組み合わせや、道路交通データ、物流、経済活動などの複数のデータを組み合わせること等により、都市交通調査の効率化を促進

3 これまでの委員会での整理

○新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会(R4.7)

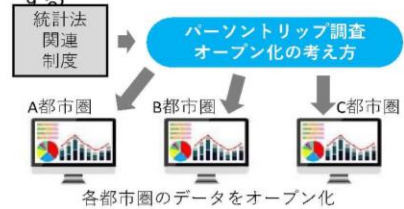
デジタル社会に対応した新しい都市交通調査体系の実現に向けて 中間とりまとめ概要版

4 新しい都市交通調査体系の実現に向けた取り組み

③都市交通調査のデータ利活用の促進

パーソントリップ調査データのオープン化・調査仕様の共通化

- 統計調査は、統計法等の法規制や関連制度による運用を遵守する必要があるため、国がパーソントリップ調査データのオープン化の考え方を示し、これにそって各都市圏においてデータのオープン化を進めるようにする



- 調査実施を効率化するため、企画や実施にあたり共通化できる部分については共通仕様を定めることが有効である。
- 各都市圏が異なる課題を抱えていることを考慮し、地域個別に対応できるように自由度を残しておく
- 都市圏が独自に挑戦する調査については、国が積極的に後押し、結果のフィードバックを得て、調査の共通仕様の見直しを継続的に実施

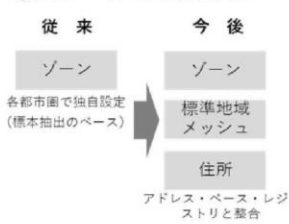
①必須項目と任意項目に分離

必須項目 <例>場所、施設、交通手段、活動(目的)、年齢、納柄、職業 など	任意項目 <例>乗り換え地点、交通手段毎の所要時間、自動車の保有者 など
---	--

②選択肢の共通化

交通手段の選択肢例	
1.徒歩 (シニアカー含む)	
2.自転車 (個人所有)	
3.レンタサイクル・コミュニティサイクル	
4.バイク (原動機付自転車・自動二輪)	
5.鉄道・地下鉄・モノレール・新交通	
6.路線バス・路面電車	
7.路線バス・コミュニティバス	
8.高速バス	
9.自家用バス・貸し切りバス	
10.乗用車・軽乗用車	
11.貨物自動車・軽貨物車	
・・・	

③他データとの接続性



簡易分析及び可視化のためのツールの提供

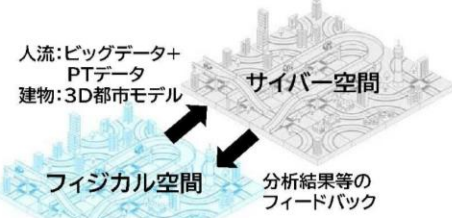
- 多様な主体がデータを利活用できるようなツールの開発を促進する
- データ分析の専門家と、専門家ではない人の両方が使いやすい環境を構築することが重要



東京都市圏交通計画協議会「東京PTインフォグラフ」

パーソントリップ調査データと3D都市モデル等との連携

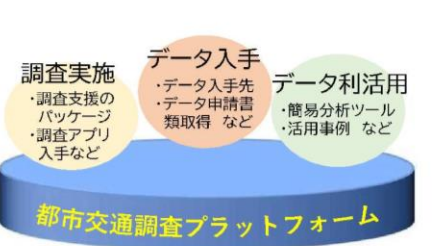
- ビッグデータとパーソントリップ調査データを組み合わせて再現した人々の活動や移動と、3D都市モデルと連携したデジタルツイン構築を見据え、パーソントリップ調査の改善に取り組むべき



デジタルツインシティのイメージ

都市交通調査プラットフォームによる知見の共有

- 新たな都市交通調査をみんなで育てていくため、これを支える場として、情報交流、ツールの入手、事例共有、人材育成等を支援する、都市交通調査の統合プラットフォームを構築



④新たな都市交通調査に係る手引きの作成

- 都市交通調査を取り巻く状況の過去からの変化、及び、今後も社会が速い速度で変化する可能性を念頭に、現行の手引きをふまえ、「都市交通調査」を再定義する新たな手引きを作成

総合都市交通体系調査の手引き(案) 平成19年9月

総合都市交通体系におけるビッグデータ活用の手引き【第1版】 平成30年6月

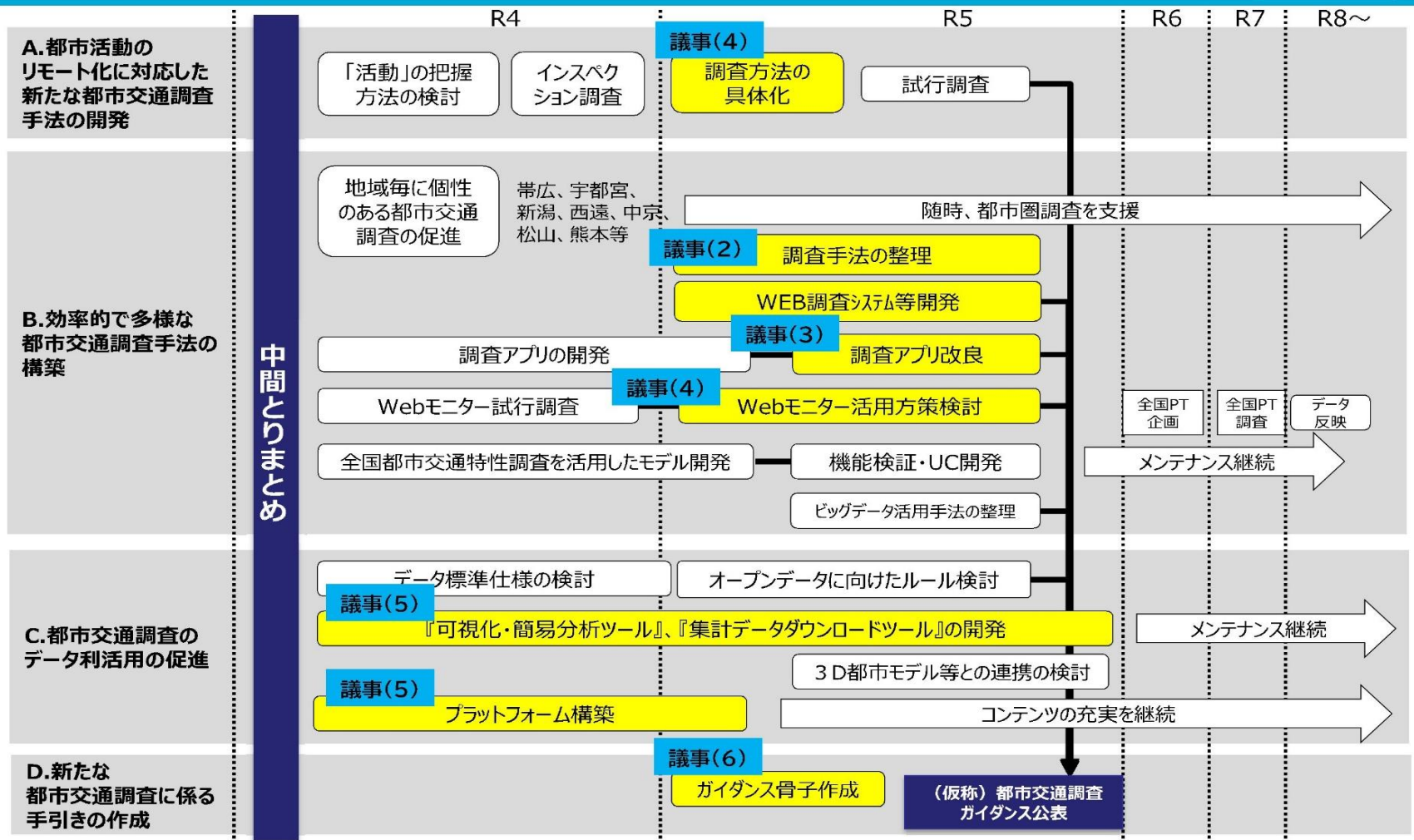
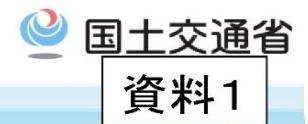
- 活動、場所、移動を一体的に把握する調査
- 多様な目的に対応した都市交通調査
- ビッグデータやシミュレーション技術の活用
- データオープン化
- 都市交通調査プラットフォーム等

(仮称) 都市交通調査ガイドンス

3 これまでの委員会での整理

○第10回 新たな都市交通調査体系のあり方に関する検討会 (R5.10.31)

新たな都市交通調査の実現に向けたロードマップ



黄色 : 第10回検討会で議論

3 これまでの委員会での整理

○県HPの掲載状況

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/toshikei/masterplan/pt/kfvn.html>



取組の紹介

各市区・交通事業者の代表的な取組について紹介します。

- 高松広域都市圏都市交通マスタープラン
- 第6回高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会を開催します
- 推薦促進の取組
- 取組の紹介
- フォローアップ
- マスタープラン
- もっと見る

取組の紹介

- 香川県バス協会の取組の紹介
- JR四国の取組の紹介
- ことでんの取組の紹介
- まんのう町の取組の紹介
- 多反津町の取組の紹介

▼ もっと見る

[高松市の取組](#)
[丸亀市の取組](#)
[坂出市の取組](#)
[善通寺市の取組](#)

[讃岐寺町の取組](#)
[さぬき市の取組](#)
[東かがわ市の取組](#)
[三豊市の取組](#)

[三木町の取組](#)
[宇多津町の取組](#)
[坂川町の取組](#)
[琴平町の取組](#)

[三木市の取組](#)
[まんのう町の取組](#)

ことでん JR四国 香川県バス協会

相談窓口 申請様式

最新情報

ことでん 寒気対策(重点的取組) 総合的なモビリティマネジメントの実施
目的(コンセプト) : ことでん等平線、長尾線、志度線における利便性の向上

ことでん 2015年度 利用者数
17,098名
(前年度比 1.0倍、1.7%)

ことでん 2015年度 コールセンターの利用率
利用率 100%

ことでん 2015年度 わくわく電車発表

総合的なモビリティマネジメントの実施 (PDF : 792KB)

最新情報

【高松市】ことでん新駅(太田～仏生山駅間)整備に係る考え方 (第3回委員会での概要)

立地適正化計画「都市機能」及び「居住」の統合と連携した拠点形成

具体的事業
・駅前、駅前直結部
(バス駅舎とし、P・R(くるり)付設、くるり付設の整備)
・駅直結部特設(複層のバス駅舎等
(ワイターバス等)
・駅直結システムの構築

期待される効果
① 駅直結部特設による「コンパクト」な駅前環境の形成
② 駅直結部特設による「コンパクト」な駅前環境の形成
③ 駅直結部特設による「コンパクト」な駅前環境の形成

高松市が持つ「強み」を生かした「コンパクト」な駅前環境の形成

【高松市】高松市都市計画マスタープランについて (第3回委員会での概要)

将来都市構造物

① 「コンパクト」な駅前環境の形成
② 「コンパクト」な駅前環境の形成
③ 「コンパクト」な駅前環境の形成

1.ことでん新駅(太田～仏生山駅間)整備に係る考え方 (PDF : 1,794KB)

2.高松市都市計画マスタープランについて (PDF : 429KB)

- ① 四国運輸局 : 情報提供(地域公共交通)
- ② 四国地方整備局 : 情報提供(立適・都市再生整備計画)
- ③ 高松市交通政策課 : 高松市における総合的な交通体系の再構築
- 高松市都市計画課 : 仏生山地区における「みんなの病院を核としたまちづくり」について

